

主な意見	対応箇所
三方よし	
<ul style="list-style-type: none"> 使い勝手が良い言葉ではあるが、戦略のどの部分にかかっているのかがもう少し分かりやすく示されているとよい。 	→ 策定趣旨8p、長期目標34p
誰の、どういう戦略か	
<ul style="list-style-type: none"> 生物多様性で地域を守る、身近な自然との関わり劣化、生物多様性の保全、再生、ネイチャーポジティブにつながる関わりをどう見える化して評価できるか。特段倫理的でも道徳的でもきれい好きでもない人が普通に生活していて生物多様性や自然再興につながる事が最も大事 	→ 取組方針38p、戦略の推進52～53p
<ul style="list-style-type: none"> 県民のための戦略として、自分事として捉え、何をしたらいいのかを考えるメッセージになるとよい。「6 戦略の推進」の書きぶり、「5 行動計画」のどの辺りをどう取り組むのかがあれば受け止め方もわかる。（生物多様性に関わりたいと考える人、学生が具体的に何をすればよいかわかるようにする） 	→ 戦略の推進53p
<ul style="list-style-type: none"> 地域のモデルのだけれども地域固有のローカルな取組が、世界目標とどうつながっているのか、大きな文脈での貢献が分かることが大事、そういう人々をエンパワーメントしていくことが必要 	→ 戦略の推進52p
<ul style="list-style-type: none"> 地域の夢、課題解決、豊かに暮らしたい、といった生活コンテンツの文脈の中で結果として生物多様性が豊かになっていくのが理想で、耐えて、生物多様性を保全するのは違う。 	→ （参考 戦略の推進52p）
<ul style="list-style-type: none"> 戦略を豊かなものにするという意味で、議論のエコトーンみたいなものが組み込まれているとよいのではないか。MLGsのフォーラムや「びわこ会議」が近いと思うので、そういう場を作るなどが考えられる。 	→ 行動計画51p、戦略の推進54p
<ul style="list-style-type: none"> 県民と同じ水を飲んでいる1500万人も関係人口で、インバウンドも含めて生物多様性の保全に関わる主体ではないか。ボーダレスな連携も表現できていればよい。 	→ （参考 策定趣旨8p、戦略の推進53p）
目標関係	
<ul style="list-style-type: none"> 2030年の短期目標は全ての状態目標の上位にくるものであり、「質」についての具体性を高めておく必要 	→ 目指す姿35～36p
<ul style="list-style-type: none"> 30by30目標は、行政の力だけではなく民間も含めて全員の総意で広げていこうという新しい試みで、これから手を挙げようとする方の動機付けとなるよう、重要拠点や飛び石の情報や位置づけ、意図すること、を正しく伝わるような工夫が必要 	→ 目指す姿37p
行動計画、指標関係	
<ul style="list-style-type: none"> 「保全」、「活用」、「行動」のそれぞれについて、定期的に計測可能で分かりやすく、生物多様性保全に資する指標が肝になる。特に企業へのインセンティブにつながるようなところが重要（骨子案からの継続意見） 	→ 取組方針40p、行動計画47p
<ul style="list-style-type: none"> 指標をアップデートできる制度的余地を残した方がよい。（骨子案からの継続意見） 	→ 戦略の推進54p
<ul style="list-style-type: none"> 一般の人々が認識を変えていくためのアイデア、仕掛けがセットでないと行動目標が空回りしてしまう。 	→ （参考 行動計画49p、戦略の推進53p）
<ul style="list-style-type: none"> 今ある山をそのままにして動植物が棲んでくれるようにするという生物多様性もあれば、植え替えて、CO2の吸収をよくする、木の方の生物多様性もあるのではないかと。 	→ 行動計画43p、48p （参考 現状と課題31p）
<ul style="list-style-type: none"> パターンランゲージという手法で、目標となる行動様式を見える化するという手法もある。指標を県民等と一緒ににつくっていく、アップデートできていくということが書かれているとよいのではないかと。 	→ （参考 戦略の推進54p）
<ul style="list-style-type: none"> 農業だけでなく肥料の生物への影響など、モニタリングや質的な部分を評価する指標をつくるという点があるとチャレンジングでよい。行動目標と質的な部分とのつながり、連携がわかるとよい。 	→ （参考 行動計画48p）
<ul style="list-style-type: none"> 現行戦略の達成状況を踏まえた取組の優先順位等工夫が必要（骨子案での意見） 	→ 行動計画43p～
<ul style="list-style-type: none"> OECM拡大促進に企業等が関わるメリット、地域の金融機関等による投融資の優遇措置の導入促進等を視野に入れた対応が必要（骨子案での意見） 	→ 取組方針40p、戦略の推進53p （参考 現状と課題33p）